

友好都市和歌山県田辺市から医療機関へ感謝の意  
南高梅 梅干 4,000粒寄贈

令和2年6月4日(木) 13:30～

笠間市・和歌山県田辺市・北海道遠軽市・京都府綾部市は、合気道の開祖である植芝盛平翁ゆかりの地として、相互の理解と友好親善を深めるため平成20年2月23日に友好都市提携の宣言書を取り交わしました。

今回、田辺市より、新型コロナウイルス感染予防対策を最前線で行っている感染症指定医療機関に勤める医療従事者等の方々に対して、感謝の意を表すために名産である「梅干」が寄贈されることになり、笠間市では、茨城県立中央病院へ4,000粒の梅干が贈られます。



南高梅(イメージ図)

【日時】令和2年6月4日(木) 13:30～

【場所】茨城県立中央病院 2階本館 会議室

※検温等がございますので、取材に来られる際は事前にご連絡ください。

【寄贈者】

寄贈者 田辺市長 真砂 充敏 様

(※当日代理寄贈 笠間市長 山口伸樹)

受取者 茨城県立中央病院 病院長 島居 徹 様

【内容】個包装梅干 南高梅 4,000粒

【梅干のいわれ・効能】

宮中日記「御湯殿の上の日記」によると、室町時代後期、日本中に飢饉が続いた際、時の後奈良天皇が京都の賀茂別雷神社に詣で、梅を奉納して祈願したところ、たちまち大雨が降り始め、五穀豊穡をもたらしたそうです。このことから、古来より、梅には災いや疫病を除き福を招く力があると伝えられてきました。また、梅干しに含まれるクエン酸には、疲労防止・回復効果もあります。

【備考】

田辺市は31,500粒の梅干しを購入し、笠間市以外にも下記自治体(友好都市)に寄贈しています。

北海道遠軽町、大阪府堺市、島根県出雲市、田辺市内病院(参考)

【和歌山県田辺市問合せ先】

和歌山県田辺市梅振興室(0739-26-9959)

この件に関するお問い合わせ

笠間市役所 秘書課 担当:山本・山下

電話番号:0296-77-1101(内線226) ファックス番号:0296-78-0612 e-mail:hisho@city.kasama.lg.jp